



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

2025年度 医療安全マスター養成プログラム Day1・Day2 開催のご案内

医療安全を”学びほぐす”

PATIENT

SAFETY



医療安全マスター養成プログラム Day 1・Day 2 [第12期]

日本医療機能評価機構では、病院において医療安全の実務を担っておられる方のパフォーマンス向上を支援するために、医療安全アドバンストコースの基盤的な位置づけの研修プログラムとして、「医療安全マスター養成プログラム」を開講しています。

医療安全の担当者が、新たな学びと振り返りを通じて現場での実践に活かしていただくこと（学びほぐし）をキーワードにカリキュラムを提供します。



講義の一部は、事前動画として繰り返しご視聴いただけます

日程

【Zoomライブ配信】 4日程ご参加ください

2025年 11月 28日(金) 15時～17時30分
2025年 12月 19日(金) 15時～17時30分
2026年 1月 9日(金) 15時～17時30分
2026年 1月 18日(日) 13時～17時

※これまで、Day1・Day2として2日間で開催していたプログラムを、4回に分け開催することとなりました。

形式

- ・上記日程での、Zoomを使ったライブ配信
- ・他、e-learningによる動画視聴（一部科目）

講師

（敬称略・五十音順）

笥 淳夫 （工学院大学建築学部 教授）
荒神 裕之 （山梨大学大学院総合研究部医学域 医療安全学講座 教授）
瀧本 禎之 （神戸大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 教授）
田中 健次 （国立大学法人電気通信大学 名誉教授
産学官連携センター 特任教授（副センター長））
中島 和江 （大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
教授・部長、病院長補佐／大阪大学 総長補佐）
橋本 迪生 （日本医療機能評価機構 常務理事）
長谷川 剛 （泉大津急性期メディカルセンター
クオリティ管理センター センター長）
三井 睦貴 （弁護士）

費用

- 病院機能評価認定病院、
又は受審申込済みの病院にご所属の方 66,000円（税込）
 - 上記以外の医療機関にご所属の方 88,000円（税込）
- ※ 一旦お振込いただいた費用は原則としてご返金いたしかねます。

定員

50名程度

科目

より質の高い実践につなげていただくため、「医療システムとレジリエンス」や「施設・環境・設備のマネジメント」といった新しい切り口のテーマも解説します。全国の受講生とのネットワークづくりと、日々の医療安全管理業務に対しても新たな視点やヒントを獲得する機会となります。

オーガナイザー・座長：長谷川 剛

Day1として：① 予防的安全管理

- ☐ 事前動画視聴+当日質疑応答
- ☒ 当日ライブ講義+質疑応答

開催日	科目・テーマ	講師（敬称略）
11/28(金)	◆ 医療の安全とは	橋本 迪生
	☐ 医療安全・患者安全に通底するもの	田中 健次
12/19(金)	◆ 施設・環境・設備のマネジメント	筧 淳夫
1/ 9(金)	◆ 医療チームや組織等におけるレジリエンスの発揮	中島 和江

Day2として：② リスクが顕在化した後の安全管理

開催日	科目・テーマ	講師（敬称略）
1/18(日)	☐ 予期せぬ有害事象への具体的対応 ～医療メディエーションと価値共創～	荒神 裕之
	☐ 予期せぬ有害事象への具体的対応 ～臨床倫理の観点から～	瀧本 禎之
	☐ 予期せぬ有害事象への具体的対応 ～法的観点から～	三井 睦貴
	◆ パネルディスカッション： 予期せぬ有害事象への具体的対応	荒神・瀧本 ・三井
	◆ 2日間の振り返り	

Day2の内容の一部を第20回医療の質・安全学会 学術集会のシンポジウムで展開します。ぜひお越しください。

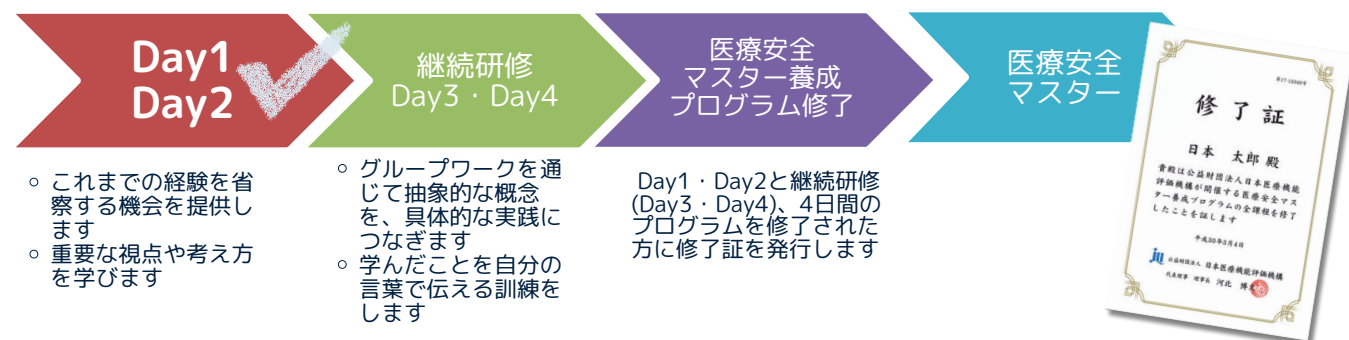
申込

お申し込みは、URLもしくは左記QRコードから

<https://jq-edu.jcqhc.or.jp/program/sm/>



医療安全マスター養成プログラムとは...



医療安全に関わる皆様の日々の業務のブラッシュアップと、継続的な学びを支援を目的とした、評価機構が提案する研修の体系です

※科目・タイトル名や進行順等、ライブ配信当日のプログラムは変更となる可能性もございます。予めご容赦ください。

公益財団法人 日本医療機能評価機構

教育研修事業

第20回 医療の質・安全学会 学術集会に参加します。
ぜひお越しください！

第20回 医療の質・安全学会学術集会

日 時：2025年11月8日（土）9:00～10:30
会 場：第4会場【1F 第2展示場 D】



セッション名：パネルディスカッション 8 「医療安全管理者のための有害事象対応 ：専門家の視点を交えた実践的アプローチ」

●座長 長谷川 剛
(京大津急性期メディカルセンター)
●ディスカッサント
荒井 俊行
(荒井東京法律事務所)
荒神 裕之
(山梨大学大学院総合研究部医学域)
瀧本 慎之
(神戸大学医学部附属病院)

有害事象が発生した時、医療安全管理に携わる者には迅速な判断とともに組織的対応が求められます。本セッションは、日本医療機能評価機構が開講する医療安全マスター養成プログラム Day2「顕在化したリスクへの対応」に着想を得たシンポジウムとして、専門家と共に医療メディエーション的観点・法的観点・臨床倫理的観点からの考察を交え、実際に直面し得る事例を多角的に議論します。組織を支える視点と個人を支える視点を行き来しながら、職場に持ち帰ることのできる「行動につながる知」を探ります。

医療現場のリアルを、専門家の目線から多角的に読み解く

サステイナブルな質の改善と患者安全



【お問い合わせ】

(公財) 日本医療機能評価機構 教育研修事業部 教育研修課
TEL：03-5217-2373 Web：<https://jq-edu.jcqhc.or.jp/program/sm/>

